

感染症発生状況

令和7年3月27日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年3月17日（月）～3月21日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 264名 【職員】 3名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 52名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（114名）、咳・鼻水（63名）、嘔気・嘔吐（20名）、下痢・腹痛（19名）

疾病別：伝染性紅斑（リンゴ病）（24名）、胃腸炎（14名）、インフルエンザ（11名）、
気管支炎・肺炎（2名）

【職員】 症状別：熱（2名）

疾病別：なし

**感染性胃腸炎はようやく収束に向かっています。
インフルエンザ等の呼吸器感染症も落ち着いています。**

【症状別の発生状況】

伝染性紅斑（リンゴ病） 河北地区、河南地区で増加しました。厨川地区、都南地区で減少しました。

胃腸炎 河北地区、盛南地区、河南地区、都南地区で減少しました。

インフルエンザ 玉山地区、河北地区で増加しました。厨川地区、河南地区で減少しました。

気管支炎・肺炎 河北地区、盛南地区で減少しました。

【県の状況（3/10～3/16）】

感染性胃腸炎は増加し、定点当たり患者数は13.26人となりました。盛岡市で警報値(20人)を超えています。集団発生事例が教育保育施設等で10件ありました。集団生活をしている施設では特に注意が必要です。胃腸炎ウイルスは消毒用アルコールが効きにくいいため、石けんと流水による手洗いが重要です。体調管理に気を付け、調理や食事の前、トイレの後は手を洗いましょう。患者の吐物や便は、使い捨て手袋とマスクを着用し塩素系消毒剤で処理してください。換気も忘れずに行いましょう。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少し、定点当たり患者数は4.10人となりました。久慈地区で警報値(8人)を超えています。発熱、莓状の舌、全身倦怠感、咽頭痛を主症状とする細菌感染症で、猩紅熱や糸球体腎炎に発展する場合があります。予防には、手洗い、咳エチケットのほか、患者との濃厚接触を避けることが有効です。

伝染性紅斑(リンゴ病)は増加し、定点当たり患者数は1.59人となりました。盛岡市、県央及び二戸地区で警報値(2人)を超えています。小児を中心に冬から夏にかけて流行するウイルスによる発疹性疾患です。両頬に境界明瞭な紅斑、四肢にはレース状の紅斑が現れます。予防には、手洗いや咳エチケットが有効です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】